

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆冬ボーナス93万円、2年連続過去最高 鉄道・建設けん引

・日本経済新聞社は2024年冬のボーナス調査(12月2日時点)をまとめた。1人あたり支給額(加重平均)は前年比3.49%増の93万6796円となり、2年連続で過去最高を更新。運輸収入が回復する鉄道など、非製造業が全体をけん引。実質賃金の押し上げに寄与しそう。支給額は4年連続で増え、1975年の調査開始以降で最高。

◆日本の労働生産性、OECDで29位 23年は下げ止まり

・日本生産性本部が発表した2023年の日本の時間あたり労働生産性は56.8ドル。経済協力開発機構(OECD)加盟の38カ国中29位だった。新型コロナウイルス禍からの回復が遅れ、日本の順位は18年(21位)から22年(31位)に急激に落ち込んだが、23年は下げ止まった。日本は22年から順位を2つ上げた。

◆11月後半の消費4.8%増、外食が好調 民間調査

・ナウキャストとJCBは16日、クレジットカード決済額に基づく11月後半の消費データを発表。外食などサービス消費が堅調で、名目では前年同期比4.8%増。11月後半のサービスは5.5%増えた。外食は10.6%増。ファミリーレストランや喫茶店・カフェが好調だった。小売りは4.1%増と、11月前半から伸び率は縮小した。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆10月の機械受注、2.1%増 4カ月ぶりプラス

・内閣府が発表した10月の機械受注統計によると、設備投資の先行指標とされる船舶・電力を除く民需(季節調整済み)は前月比で2.1%増の8698億円。半導体製造装置などの受注があり、4カ月ぶりに増加。内訳をみると、製造業が前月比12.5%増の4368億円で、5カ月ぶりにプラスとなった。

◆建設業の景気DI、2カ月ぶりに改善 大規模開発など好材料に

・帝国データバンクが公表した2024年11月の「景気動向調査結果」によると、景気DIは前月比0.1ポイント増の44.4となった。「建設」のDIは48.1で前月比0.3ポイントの増加。災害復旧工事や大規模開発などが好材料となり、2カ月ぶりに改善している。業界別では、「建設」「サービス」など6業界が改善。

◆東京都、街路灯6万本を5G基地局に 通信各社に開放

・東京都は通信各社トップらとの会議「第5回TOKYOデータハイウェイサミット」を開き、都内の街路灯6万本を2025年度から高速通信規格「5G」の基地局向けに開放する方針を明らかに。都は街路灯のほか、都立公園111カ所も5G基地局向けに開放。NTT東日本やNTTドコモ、KDDI、楽天モバイルなどの社長らも出席した。

《 注目商品 》

■【ビタクラフト×ノーリツ共同開発】グリル専用鍋「Chefpot(シェフポット)」

・全面多層構造ステンレス鍋のパイオニアであるビタクラフトジャパンと共同開発した、ノーリツ製ビルトインコンロ専用のグリル用調理器「Chefpot(シェフポット)」を発売。熱しやすく冷めにくい全面5層構造の性能はそのままに、「Orche」と「Nest」に最適なグリル専用鍋。



■LIXIL 後付け「宅配ボックスKN

・「宅配ボックスKN」に「ポール建て仕様」と「据置仕様」を追加して発売。再配達削減につながる宅配ボックス付きの製品4種類を今春発売。ファサード商材の「宅配ボックスKN」にリフォームでも取り付けやすい2種類の新仕様をラインアップ。



■ミルウォーキー 軽量・コンパクト、締付けトルク542Nmのインパクトレンチ

・高耐久・コンパクトなコードレス電動工具「M12 FUEL」シリーズからインパクトレンチ2機種を発売。最大締め付けトルク542Nm、最大緩めトルク745Nm、回転速度0-3,000rpmのパワフルさを実現。軽量・コンパクトで狭い場所でも取り回しが容易で、長時間の作業にも対応。

